

介護老人保健施設の 運営状況に関するアンケート 集計結果まとめ

実施：2019年7月

対象：日本慢性期医療協会の介護老人保健施設
および会員病院関連の介護老人保健施設

回答：131施設（定員数計 11,529人）

1. 開設主体（比率：％）

回答施設が昨年度と同じとは限らないので、数値に多少のブレがある

	2018年度（n=138）	2019年度（n=131）
1. 医療法人	92.0	90.8
2. 社会福祉法人	3.3	4.6
3. 社団・財団法人	2.0	3.1
4. 都道府県・市町村	1.3	0.0
5. その他	1.3	1.5

2. 介護報酬上の届出

参考) 介護給付費等実態統計月報

	(%)	(%)	(%)
	2018年度 (n=150)	2019年度 (n=131)	2018年比
1. 超強化型	21.3	38.2	+16.9
2. 在宅強化型	8.7	10.7	+2.0
3. 加算型	34.0	31.3	-2.7
4. 基本型	29.3	16.8	-12.5
5. その他型	3.3	0.8	-2.5
6. 介護療養型老健	3.3	2.3	-1.0

	(%)
	2019年度5月 審査分より
超強化型	16.9
在宅強化型	8.1
加算型	33.7
基本型	36.6
その他型	4.8

3. 職員数常勤換算（定員100人換算）

ケアマネジャーが減少している。全国的なトレンドとして、受験資格の見直しに伴う受験者数の減少、合格率の低下等の影響や、処遇改善加算の影響で介護職から移行したくない人もいるという意見もあった。

	最大		最小		平均	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
リハビリスタッフ	18.6	20.4	1.5	1.5	7.2	7.4
理学療法士	13.0	14.5	0.0	0.0	3.9	4.2
作業療法士	8.9	11.6	0.0	0.0	2.7	2.6
言語聴覚士	4.0	3.9	0.0	0.0	0.7	0.7
看護職員	28.3	22.0	9.9	8.3	13.5	12.9
介護職員	58.9	68.6	24.0	20.0	35.2	36.0
介護支援専門員	10.0	8.4	0.9	0.5	2.2	1.9
支援相談員	8.0	7.0	0.9	0.6	2.5	2.7

(参考)

リハビリスタッフの配置	施設数	比率(%)
1.理学療法士&作業療法士&言語聴覚士	64	50.4
2.理学療法士&作業療法士	44	34.6
3.理学療法士&言語聴覚士	4	3.1
4.作業療法士&言語聴覚士	3	2.4
5.理学療法士のみ	9	7.1
6.作業療法士のみ	3	2.4
7.言語聴覚士のみ	0	0.0
8.いずれもなし	0	0.0
計	127	100.0

4. 併設病院の状況（比率：％） （複数回答）

		2018年度	2019年度
1. 併設病院なし		26.9	34.6
2. 有床診療所併設		4.8	7.1
3. 無床診療所併設		4.1	5.5
一般病床	4. 特殊疾患1	4.1	3.1
	5. 特殊疾患2	0.0	0.0
	6. 回復期リハ入院料	9.0	5.5
	7. 地域包括ケア病棟（病床）	20.0	14.2
	8. 障害者施設等入院基本料	15.2	11.8
	9. 緩和ケア	4.8	0.8
	10. 急性期一般入院基本料	14.5	11.8
	11. 地域一般入院基本料	6.9	3.9
療養病床	12. 療養病棟入院基本料	56.6	46.5
	13. 介護療養病床	20.7	11.8
	14. 回復期リハ入院料	26.9	18.9
	15. 地域包括ケア病棟（病床）	7.6	7.1
	16. 介護医療院	4.1	5.5
	17. 認知症治療病棟	5.5	7.9
	18. 特殊疾患2	1.4	0.8
19. その他の病棟		2.8	3.9

回答している病院が異なる
ので、構成が変わっている

5. 入所者数等（令和元年7月1日現在）

他調査と比較して入所者数/入所定員数割合は高い

	2018年度 (n=134)	2019年度 (n=129)
入所定員数（人）	11,890	11,529
入所者数（人）	10,964	10,627
入所者数／入所定員数 （％）	92.2	92.2

入所者数／入所定員数（％）

比率（％）

	2018年度（n=134）	2019年度（n=129）
95%以上100%以下	43.3	45.0
90%以上95%未満	21.6	24.8
85%以上90%未満	23.9	15.5
80%以上85%未満	5.2	7.0
75%以上80%未満	3.0	3.1
70%以上75%未満	2.2	1.6
65%以上70%未満	0.0	2.3
60%以上65%未満	0.7	0.8

6. 通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションの実施状況（比率：％）（複数回答）

訪問リハビリテーション実施割合が増え、本来の老健の役割である在宅療養支援機能の強化が意識化されたと推測される。

	2018年度（n=150）	2019年度（n=129）
1. 通所リハビリテーション	83.3	91.5
2. 訪問リハビリテーション	14.0	26.4
3. いずれも実施していない	3.3	1.6
無回答	12.7	7.8

7. 調査実施年度の3年前と比較した稼働率の推移（比率：％）

	2018年度 (n=133)	2019年度 (n=125)
1. 高くなっている	28.6	27.2
2. 1%未満で大きな変動なし	31.6	35.2
3. 低くなっている	39.8	37.6

(参考)
(2019年度調査)

	全体	超強化型	在宅 強化型	加算型	基本型	その他型	介護 療養型
回答施設数	125	48	14	39	21	1	2
1. 高くなっている	27.2	29.2	28.6	28.2	19.0	0.0	50.0
2. 1%未満で大きな変動なし	35.2	37.5	28.6	30.8	47.6	0.0	0.0
3. 低くなっている	37.6	33.3	42.9	41.0	33.3	100.0	50.0

8. 平成30年度 介護報酬改定について

8-1. 在宅復帰率（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 50%超：20点	31.5	38.3
2. 30%超：10点	32.2	29.7
3. 30%以下：0点	36.3	32.0

8-2. ベッド回転（比率：％）

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 10%以上：20点	48.6	57.0
2. 5%以上：10点	39.7	34.4
3. 5%未満：0点	11.6	8.6

8-3. 入所前後訪問指導割合 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 30%以上：10点	51.4	60.2
2. 10%以上：5点	16.4	21.1
3. 10%未滿：0点	32.2	18.8

8-4. 退所前後訪問指導割合 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 30%以上：10点	67.8	85.2
2. 10%以上：5点	12.3	4.7
3. 10%未滿：0点	19.9	10.2

8-5. 居宅サービスの実施数 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 3サービス：5点	35.6	46.9
2. 2サービス：3点	55.5	51.6
3. 1サービス：2点	4.8	0.8
4. 0サービス：0点	4.1	0.8

8-6. リハ専門職の配置割合 (比率：%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 5以上：5点	39.7	52.3
2. 3以上：3点	41.8	36.7
3. 3未満：0点	18.5	10.9

8-7. 支援相談員の配置割合 (比率：%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 3以上：5点	34.2	50.8
2. 2以上：3点	39.0	30.5
3. 2未満：0点	26.7	18.8

8-8. 要介護4又は5の割合 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 50%以上：5点	34.9	34.4
2. 35%以上：3点	50.0	50.8
3. 35%未満：0点	15.1	14.8

8-9. 喀痰吸引の実施割合 (比率：%)

	(%)	
	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 10%以上：5点	23.3	43.0
2. 5%以上：3点	18.5	14.8
3. 5%未満：0点	58.2	42.2

8-10. 経管栄養の実施割合 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 10%以上：5点	26.0	26.6
2. 5%以上：3点	24.0	32.0
3. 5%未満：0点	50.0	41.4

8-11. 在宅復歸・在宅療養支援等指標 合計 (比率：%)

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
平均点	53.2	60.5
80点以上90点以下	8.9	18.8
70点以上80点未滿	17.1	26.6
60点以上70点未滿	16.4	10.9
50点以上60点未滿	14.4	11.7
40点以上50点未滿	14.4	15.6
30点以上40点未滿	11.6	9.4
20点以上30点未滿	13.7	6.3
10点以上20点未滿	3.4	0.0
0点以上10点未滿	0.0	0.8

9. 「在宅復帰・在宅療養 支援機能に対する評価」の 算定要件について

9-1. 「退所時指導等（退所時指導・退所後の状況確認）」について（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=148)	2019年度 (n=129)
1. 実施している	89.2	93.0
2. 実施する予定である	4.1	3.9
3. 実施したいができない	5.4	1.6
4. 実施するつもりはない	1.4	1.6

9-2. 「リハビリテーションマネジメント」 について（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=144)	2019年度 (n=129)
1. 実施している	89.6	96.1
2. 実施する予定である	2.1	0.8
3. 実施したいができない	4.9	3.1
4. 実施するつもりはない	3.5	0.0

9-3. 「地域貢献活動」について（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=146)	2019年度 (n=128)
1. 実施している	61.0	84.4
2. 実施する予定である	16.4	7.0
3. 実施したいができない	13.7	3.9
4. 実施するつもりはない	8.9	4.7

9-4. 「充実したリハ」について（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=147)	2019年度 (n=127)
1. 実施している	42.9	58.3
2. 実施する予定である	20.4	14.2
3. 実施したいができない	29.3	25.2
4. 実施するつもりはない	7.5	2.4

10. 加算について

10-1. 「かかりつけ医連携薬剤調整加算」について (比率：%)

この加算は算定が困難である可能性があるため、
今後はかかりつけ医の先生方と更なる連携が必要

(%)

	2018年度 (n=147)	2019年度 (n=130)
1. 算定している	6.8	9.2
2. 算定する予定である	56.2	33.8
3. 算定したいができない	21.9	33.8
4. 算定するつもりはない	15.1	23.1

10-2. 「所定疾患施設療養費（Ⅱ）」 について（比率：％）

(%)

	2018年度 (n=149)	2019年度 (n=131)
1. 算定している	39.6	51.9
2. 算定する予定である	34.2	18.3
3. 算定したいができない	16.8	21.4
4. 算定するつもりはない	9.4	8.4

10-3. 「排せつ支援加算」について (比率：%)

		(%)
	2018年度	2019年度 (n=129)
1. 算定している	-	49.6
2. 算定する予定である	-	22.5
3. 算定したいができない	-	16.3
4. 算定するつもりはない	-	11.6

10-4. 「褥瘡ケアマネジメント加算」について（比率：％）

(%)

	2018年度	2019年度 (n=129)
回答施設数	-	129
1. 算定している	-	64.3
2. 算定する予定である	-	10.1
3. 算定したいができない	-	10.9
4. 算定するつもりはない	-	14.7

11. ケアの質について

比率 (%)

	2018年度 (n=145)	2019年度 (n=130)
1. 倫理委員会がある。	44.1	33.1

比率 (%)

	2018年度 (n=144)	2019年度 (n=130)
2. 第三者委員会がある。	12.5	11.5

11. ケアの質について

老健では、急変時の対応を確認してきた施設が多いと考えているが、繰り返し確認を行うACPを行なっている施設も増えている。今後はますます増えていくだろう。

比率 (%)

	2018年度 (n=143)	2019年度 (n=128)
3. ACPを行っている。	10.5	17.2